

第14回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問1	4	東北のへそ	3つの地域は東北地方の真ん中に位置していることから、交流事業のキャッチフレーズは「東北のへそ」と付けられました。毎年7月には仙台市の勾当台公園市民広場で、郷土芸能の披露や特産品販売などの交流イベントが行われます。
問2	4	仙台観光特使	<p>「ハイキュー!!」は宮城県内の架空の高校、烏野高校排球部(バレーボール部)が主な舞台の漫画です。アニメや映画化、舞台化等もされています。主人公の日向翔陽さんと影山飛雄さんが令和5年に「仙台観光特使」の第1号に就任。令和6年には月島蛍さんと山口忠さんが新たに就任しました。メインの試合会場のひとつとしてカメイアリーナ仙台(仙台市体育館)が描かれていたことと、月島蛍さんが仙台市博物館に就職予定というエピソードから、カメイアリーナ仙台と仙台市博物館には作者の古舘春一先生が特別に書き下ろした仙台観光特使就任記念イラストのモニュメントがそれぞれ設置されています。</p>  <p>2023.8.19 仙台観光特使就任記念</p> <p>日向翔陽 宮城県立烏野高等学校 1年 キムラアキラ画</p> <p>影山飛雄 宮城県立烏野高等学校 1年 キムラアキラ画</p> <p>2024.8.19 仙台観光特使就任記念</p> <p>山口 忠 宮城県立烏野高等学校 1年 キムラアキラ画</p> <p>月島 蛍 宮城県立烏野高等学校 1年 キムラアキラ画</p> <p>©古舘春一/集英社</p>
問3	3	観音寺セリ	大崎地域世界農業遺産では在来作物として「鬼首菜」「上伊場野里芋」「小瀬菜大根」「松山芹」等が認定されています。「観音寺セリ」は登米市の産物です。
問4	3	名取市震災メモリアル公園	「遺構と伝承ゾーン」に津波から逃れた人を守った歩道橋の桁や商店街で被災したすずらん灯が残されており、日和山では1933年の昭和三陸地震津波を記した震簫(しんしょう)記念碑が見られます。
問5	3	浦宿橋	一般県道石巻女川線は、石巻市門脇から女川町中心部を結び、石巻市と女川町の地域間交流を支える重要な道路です。令和4年3月に万石浦に架かる浦宿橋が供用開始されました。
問6	3	女子ストリート	スケートボード競技には男女のストリートとパークの4種目があり、赤間選手が出場したのは女子ストリートです。選択肢のうちベストトリックは5回行う試技の名称、スプリントはアイススケートの種目名です。
問7	2	マグロ類ーギンザケ(養殖)ーカツオーノリ(養殖)	豊かな漁場に恵まれている宮城県はマグロやカツオなどたくさんの種類の魚が水揚げされギンザケやカキなどの養殖も盛んな全国屈指の水産県です。ギンザケ(養殖)、サメ類、カジキ類などの生産量は令和3年、全国1位となっています。
問8	4	①大野東人 ②藤原朝獺	多賀城碑には、神亀元年(724年)に大野東人によって多賀城が創建されたこと、天平宝字6年(762年)に藤原朝獺によって主要施設の大改修が行われたことが記録されています。
問9	3	松川だるま	仙台張子の主流である松川だるまは、天保年間(1830～1844年)に、仙台藩の藩士松川豊之進によって創始されたものと伝えられています。飢饉で苦しむ人々の心の拠り所になって欲しいという思いが込められました。

第14回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問10	1	高城川トンネル	昭和53年(1978年)の宮城県沖地震では、明治潜穴(せんけつ)の内部が600m程にわたって崩れたり、ひびが入ったりしました。レンガ作りだったトンネルを頑丈なコンクリートにする工事が行われ、このときに「明治潜穴」という呼び名が「高城川トンネル」に変わりました。
問11	4	三滝堂	道の駅三滝堂は登米市にあります。三陸縦貫自動車道三滝堂IC沿いの道の駅です。宮城県内初の「ドッグラン」と車中泊のできる「RVパーク」が併設されています。 なお、18の道の駅の内訳は「七ヶ宿」、「津山」、「三本木」、「路田里はなやま」、「大谷海岸」、「おおさと」、「米山」、「あ・ら・伊達な道の駅」、「林林館」、「上品の郷」、「みなみかた」、「村田」、「三滝堂」、「かくだ」、「おおさき」、「おながわ」、「さんさん南三陸」、「硯上の里おがつ」です。 令和6年11月に19番目となる道の駅「東松島」がオープンしました。
問12	2	登米市・村田町	カップハーフマラソン:登米市で開催される大会です。雄大な北上川沿いを走る眺めの良いコースは、平坦で記録が出やすいと好評です。 蛇藤まつり:村田町にある白鳥神社で毎年5月に開催されているお祭りで、春まつりとも呼ばれています。樹齢800年の奥州の蛇藤の花が見ごろを迎えるころに開催され、境内では神楽奉納や日本舞踊奉納が行われます。
問13	3	みやぎ蔵王七ヶ宿スキー場	みやぎ蔵王七ヶ宿スキー場は冬は小さい子どもから上級者まで楽しめるファミリー向けスキー場として人気です。グリーンシーズンに楽しめるオートキャンプサイトやコテージ等もあり、満天の星を眺めながらキャンプも楽しめるきららの森があります。
問14	4	アズマシャクナゲ	栗原市花山地区にある御嶽山はアズマシャクナゲの自生北限地帯で、国の天然記念物に指定されています。往時は、全山シャクナゲの花に覆われてまばゆいばかりだったことから「シャクナゲの花咲く山」で「花山」となったと言われています。
問15	2	東松島市	2021年から開始されたUNWTO(国連世界観光機関)が実施する「Best Tourism Villages(ベスト・ツーリズム・ビレッジ)」は、持続可能な開発目標(SDGs)に沿って、観光を通じて文化遺産の促進や保全、持続可能な開発に取り組んでいる地域を認定するプロジェクトで、2023年において、東松島市奥松島地域が認定されました。この取組は、観光を通じて、地域の景観、知恵、生物・文化の多様性、産業といった、地域が持つ様々な側面の価値の向上、保護を促進することを目指しています。
問16	2	かしわ	道の駅「上品の郷」に併設する日帰り温泉「ふたごの湯」は含鉄塩化物泉で、檜の大浴槽の「さくら」と石の大浴槽「かしわ」は男湯女湯が週毎の入れ替え制となっています。
問17	3	登米市	若草稲荷神社は登米市東和町にある天延3年(975年)創建の由緒ある神社です。令和6年10月現在、バイク等で巡る疾風巡拝プロジェクトのスポットは県内に4ヶ所あり、塩竈市の顕妙寺、栗原市の光明寺、大崎市の荒雄川神社もスポットになっており、参拝の証となる御刻印があります。
問18	3	大地	「だて正夢」のロゴは、五穀豊穡を表す米俵がモチーフとなっています。その米俵を4つの色にわけて、大地、恵みの雨、収穫、祝祭の意味と、このサイクルが未来永劫続くようにとの願いが込められています。また、中心に向かって色を濃くすることで、この「だて正夢」が持つ“求心力”を表しており、このロゴマークが宮城県の復興のシンボルとなるようにとの願いも込められています。

第14回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問19	2	10月8日	宮城県を代表する秋の味覚「はらこめし」は亙理町が発祥とされる郷土料理です。 10月8日は「はらこめしの日」として、一般社団法人日本記念日協会から認定されています。10月は阿武隈川に鮭が上がってくる鮭漁の解禁月であり、8日ははらこの8、イクラの粒を並べると数字の8に形が似ていることから10月8日となっています。 他の選択肢は「9月10日＝牛タンの日」、「10月9日＝仙台牛の日」、「11月11日＝鮭の日」です。
問20	2	白菜	朴島は浦戸諸島の有人島では一番小さい島ですが、浦戸諸島の中でも特にミネラル豊富な漁場で、種牡蠣の生産地としても有名な島です。 明治時代、中国の華北より導入した種子をもとに、松島湾内の馬放島(まはなしじま)で、当時の仙台市養種園の技師、沼倉吉兵衛氏が試作を繰り返し、20年の歳月をかけて完成させた白菜は、採種地にちなんで「松島白菜」と名づけられ、全国デビューをかざりました。大正末期に東京や横浜等に出荷され、「仙台白菜」としてその名が全国的に広がりました。
問21	3	丸森町	丸森町大内と福島県境にある「旗巻峠」は、戊辰戦争の際に奥羽越列藩同盟の軍と政府軍との戦いの場になりました。旗巻の地名は、伊達政宗が戦勝の帰途、この地で凱旋の旗を収めたことが由来となっています。
問22	2	旧佐藤家住宅	角田市の高蔵寺境内左手にある旧佐藤家住宅は江戸時代中期に建てられた典型的な農家住宅で国指定重要文化財となっています。
問23	1	片平公園	1911年11月、旧制二高グラウンド(現・片平公園)にて「第1回東北六県中等学校野球大会」が開催され、この際に初めて、試合前に両チームがホームベースを挟んで挨拶を行いました。この試合前挨拶は旧制学校の全国大会で旧制二高が提案し採用され、その後、甲子園から全国に広まり、日本野球独特のスタイルとして定着しました。公園には記念碑が建てられています。 「聖地・名所150選」に県内からは他に、楽天モバイルパーク宮城(宮城球場)と八木山球場跡(現:八木山動物公園フジサキの杜)が選ばれています。
問24	4	日野藤吉	日野藤吉は利府村(現利府町)に生まれ、40年以上に渡り梨栽培を広め品種改良に力を注ぎました。分け隔てなく村民に梨づくりの方法を広め、のちに大恩人と称えられ頌徳碑も建立されました。彼が植えた「真鍮梨」は利府の梨栽培のルーツとなっています。 相澤幸四郎は伊豆沼の自然を守る為の活動を行った人物。 鈴木哲朗は気仙沼地域の漁業振興に尽力した人物。 永澤才吉は旧古川市で宮城県初となる上水道を完成させた人物。
問25	2	ススキ	墓所の入り口には「かたみのすすき」と呼ばれるススキが植えられており、ここで百人一首などで有名な平安時代末期の歌人である西行法師が、「朽ちもせぬ そのなばかりを とどめおきて 枯野のすすき 形見にぞ見ゆ」という有名な歌を詠みました。このススキは葉が細く、一般のススキに比べてせん毛が少ないと言われています。

第14回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問26	3	大地	「大地の塔」は旧JR山下駅跡地に平成29年に建立されました。この塔の高さは震災の日を表す3.11m、「慰霊」「復興」「記憶」「願い」の思いが、竹の地下茎のように大きく成長していく様子をイメージしています。
問27	1	栗原市	入の沢遺跡は栗原市にある古墳時代前期(4世紀後半)の遺跡。大溝と材木堀によって高い防御性を有する大規模拠点集落で、銅鏡、鉄製品や装身具など、通常古墳に副葬される遺物が多数出土しました。古墳文化北限域の様相を考える上で重要な遺跡であると評価され、平成29年に国の史跡に指定されました。
問28	2	金成	旧金成町(現栗原市)出身の酒井篤礼は洗礼を受けた後、仮聖堂が破壊されるなどの迫害にあいながらも布教を続けました。現在の金成ハリストス正教会は、篤礼の甥の川股松太郎により自宅の敷地に建てられました。
問29	4	山元町震災遺構中浜小学校	被災した当時のまま保存された校舎の見学、館内ガイドによる避難時の説明、展示内容が詳しく書かれたガイドブックなどで、学校での防災を総合的に学ぶことができます。遺構整備のプロセスや見学体験の総合的なデザイン手法が評価され、2020年度「グッドデザイン賞(ベスト100)」並びに防災・復興分野の「グッドフォーカス賞」を受賞しました。
問30	2	3と7	古川八百屋市(ふるかわやおやまち)は1604年、伊達政宗の家臣で古川城主の鈴木和泉守元信が、稲葉村三日町と大柿村七日町で、それぞれ3と7のつく日に御日市(おんにちいち)を開くことを許したのが始まりです。現在では「道の駅おおさき」で開催され、新鮮野菜、漬物、和菓子、種苗などの品物がずらりと並びます。
問31	2	3代目	「がんばろう!石巻」の初代看板は東日本大震災の発災1か月後に地元の有志により製作され、多くの人々を勇気付けました。道路整備に伴い市民活動拠点に移され、現在は3代目で、震災の記憶を伝え続けるため、看板は5年おきに地元の中学生と作り替えています。初代看板跡地の路面には「復興するぞ!」の文字が描かれています。
問32	4	気仙沼市	気仙沼市の東日本大震災遺構・伝承館は海から約250mの位置にあり、13mを超す巨大津波で被災した「気仙沼向洋高等学校」の旧校舎を遺構として保存するとともに、展示や研修会場を備えた伝承施設を併設しています。
問33	4	宮城学院女子大学	発見当初、在来種の「トウホクサンショウウオ」と考えられていましたが、歯列やDNA鑑定の結果、新種と判明しました。主な生息地の宮城県と山形県にちなみ「センザンサンショウウオ」と命名されました。
問34	1	棋聖	宮城県知事公館では令和5年2月16日と17日に第47期棋聖戦、翌年の令和6年2月8日と9日に第48期棋聖戦が行われました。
問35	3	あきる野市	旧志波姫町と旧五日市町は、旧志波姫町出身の「五日市憲法草案」起草者千葉卓三郎を絆として昭和60年2月に友好姉妹都市提携を行いました。旧五日市町は合併により東京都あきる野市となっています。両市では、学校活動を通じた文化・スポーツの相互交流などが行われているほか、「災害時相互応援協定」も結ばれています。
問36	—	中新田	中新田打刃物は、江戸・寛文年間(1661~1673年)ごろ、仙台藩の刃匠・舟野五郎兵衛によって創始されたと伝えられています。空打式で鋼を鍛えて焼入れする伝統的技術が受け継がれており、最高の切れ味を生み出します。昭和57年に県の伝統的工芸品に指定されています。

第14回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解	解説
問37	— A — 日本三大胃腸病の名湯と言われる B — 眼病に効くと言われる C — 奥羽の薬湯と言われる	峩々温泉は蔵王山の標高850mにあり、日本三大胃腸病の名湯として知られる1軒宿。 遠刈田温泉は昔は蔵王権現参拝の為の湯治場として栄え、足腰の効能ありとされています。 小原温泉は開湯800年。「目に小原」と言われ親しまれています。 鎌先温泉は600年前、里人が鎌の先で湯を掘り当てたと言われ昔から傷に効く薬湯として知られています。
問38	— ①昆虫(館) ②淡水魚(館)	宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター(鳥館) ハクチョウが羽を広げた姿を形にした建物で、1階では沼に暮らす生きものについて学べ、2階からは望遠鏡で沼を観察できます。 栗原市サンクチュアリーセンターつきだて館(昆虫館) 伊豆沼・内沼に生息する昆虫の生態を標本や映像で分かりやすく紹介。2階には内沼を一望できる展望室もあります。 登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンター(淡水魚館) 沼の生態系の中の「水」をテーマに、水鳥や水生植物が紹介されているほか、大型水槽では沼に潜む淡水魚などの泳ぐ姿が見られます。
問39	— A — 気仙沼市 B — 名取市 C — 南三陸町	A ないわんは令和2年7月に気仙沼市にオープンした商業観光施設で、まち歩きや買い物が楽しめます。 B かわまちてらす閑上は令和元年4月に名取市閑上にオープンした施設で飲食店や鮮魚店が軒を連ねています。 C うみべの広場は令和5年7月に南三陸町にオープンしました。志津川湾を一望することができ、モアイ像も設置されています。
問40	— 加美町 	宮城県雪合戦大会は、例年加美町を会場に開催されているイベントで、上位チームは全国大会に出場します。令和6年は雪不足の中、町内の山からテニスコートに運び込まれた雪を使用し、2月3日・4日に開催されました。
問41	— やましょう	村田商人「やましょう」は、江戸後期から昭和の初期にかけて紅花の取引をはじめ、生糸、綿糸、農産物、味噌醤油醸造販売業などを商いとした町有数の豪商として知られていました。 宮城オルレ村田コースの一部にもなっている記念館は、商家の屋敷が町に寄贈されたもので、商売道具や紅花商人の資料などが見られます。
問42	— 円形	疣岩円形分水工は、2つのかんがい用水路へ分配するための施設で、昭和6年に地域の方同士の丁寧な事前協議を経て竣工しました。円筒状の中心部に水を湧き出させ、中心部からあふれ出した水を、円形の外周部で受けて所定の割合で分水する仕組みになっており、水争いをすることなく、水不足を解消し、水分配も丸く収めた貴重な土木遺産といえます。
問43	— スペイン	東日本大震災からの復興のシンボルにとの思いで立ち上げられた「みなとまちセラミカ工房」で制作されています。高温で焼き上げるため、カラフルなデザインが何年経っても色褪せないのが魅力です。

第14回宮城マスター検定1級試験解答と解説

番号	正解		解説
問44	—	けあらし	気嵐(けあらし)は、陸の寒気が海面に流れ、水蒸気が霧に変わる自然現象です。気仙沼湾は地形的にも発生しやすい条件を備えており、幻想的な光景が冬の風物詩となっています。
問45	—	こがい(さん)	蚕飼山は車で頂上まで行ける山ですが、ピクニックコースも整備されており、2時間もあれば踏破できます。地域の企業や団体による広葉樹などの植林活動が盛んな山です。
問46	—	春:(南三陸キラキラ)春つげ(井) 秋:(南三陸キラキラ)秋旨(井)	「南三陸キラキラ井」は、季節毎に具材と名称が変わります。春は「キラキラ春つげ井」、夏は「キラキラうに井」、秋は「キラキラ秋旨井」、冬は「キラキラいくら井」として提供されます。
問47	—	7(件)	これまでに指定された宮城県内の国宝は、東北大所蔵の「類聚国史巻第廿五」と「史記孝文本紀第十」、建造物の「瑞巖寺本堂」「瑞巖寺庫裏及び廊下」「大崎八幡宮」と「慶長遣欧使節関係資料」の6件でした。「多賀城碑」は7件目の国宝となります。
問48	—	有壁	江戸時代に勅使や幕府役人、とりわけ大名の専用休息宿泊所を本陣と称しました。栗原市には、高清水、築館、宮野、沢辺、有壁の6つの宿場があり、参勤交代の奥州諸大名や幕府・仙台藩の巡見使などが休息宿泊に利用しました。
問49	—	栗原市	時疾風は栗原市出身で、東京農業大学卒業後、時津風部屋に入門し、平成31年3月場所で初土俵、令和6年5月場所で宮城県出身力士としては五城楼以来27年ぶりの新入幕を果たしました。
問50	—	コクガン	志津川湾には天然記念物で絶滅危惧種であるコクガンが毎年シベリアから越冬のために飛来します。ガンの仲間では珍しく海を主な生息場とし、志津川湾にはコクガンの餌となる海藻も豊富で寒暖種合わせて200種以上繁茂していることも評価されました。

